





北芝周辺での取り組みについて

隣保館としての、
こども・若者の居場所/社会体
験・参画/学びのサポート
市民活動促進
文化体験促進
人権啓発
生活総合相談/地域就労相談
/人権相談/教育相談

＜地域の内と外をつなぐ装置＞
NPO中間支援事業
地域の食卓プロジェクト
楽駄屋
地域通貨まーぶ発行事業
ごっとうデリ・ごっとうキッチン
視察受入・講師派遣
芝楽市

隣保館としての、
高齢者の居場所、介護予防

＜地域の中に雇用を創出＞
訪問介護ステーション
市営住宅指定管理
小規模修繕・施設管理
不動産業務

＜若者の働くを応援＞
なんでもやったるday

芝資源マップ



北芝地域がめざすもの

ささえあい5つのあいことば

つながる！

誰かとつながってちょっ
とめんどくさいけど、やっ
ぱり心強い。誰かのため
に。それが生きる楽しみ
に。

たのしむ！

楽しむことにひとは魅かれ
る。するとつながる。だから、
楽しいことには全力投球。
昔から、苦しいときも笑を
絶やさず。

はたらく！

枠にハマらない
いろんな働き方が
あってそれでいい。「しご
と」の対価ってお金以外
にいろいろあるからおもし
ろい

ほっとする！

時にはみんなで寄りあっ
て、時には休んでほっとし
て、居場所があると心が
元気になる。誰もが見つ
けられるように、居場所は
たくさん
あるといい。

たべる！

食べることは生きること。
おいしいとひとが集う。
食べて笑って過ごせたら
それでよし！

部落問題についてそもそも

●そもそも部落問題って？

	回答者数	同和地区や同じ小学校に ある物件は避けると思う	同和地区にある物件は 避けるが、同じ小学校に ある物件は避けたいと思う	いずれにせよあつても こだわらない	わからない	無回答・不明
2010年調査	903名	54.9%	11.9%	23.1%	12.8%	9.1%
2005年調査	3,675名	43.4%	16.2%	20.8%	32.1%	3.7%
2000年調査	5,568名	38.1%	—	12.7%	24.0%	1.9%

●現在はどんな形になってるの？

- ・インターネット
- ・結婚差別
- ・行政への問い合わせ
- ・土地差別調査

●なんでなくなるの？

回答者数	本人が現在同和地区に 住んでいる	本人が過去同和地区に 住んだことがある	本人が過去同和地区に 住んでいない	本人が過去同和地区に 住んでいない	本人が過去同和地区に 住んでいない	本人が過去同和地区に 住んでいない	本人が過去同和地区に 住んでいない	本人が過去同和地区に 住んでいない	本人が過去同和地区に 住んでいない	本人が過去同和地区に 住んでいない	本人が過去同和地区に 住んでいない
874名	41.4%	19.2%	31.8%	30.2%	25.1%	22.5%	22.1%	13.5%	2.1%	20.7%	12.2%

●1969年 北芝支部結成

- ・環境改善、生活基盤の底上げ
- ・青年を中心とした部落解放運動

●70年代～80年代

- ・「教育守る会」
- ・「解放こども会」
- ・青年部、女性部
- ・夜学、地区学
- ・狭山差別共闘



●転換へのきっかけ

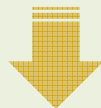
- ・89年 箕面市役所差別事件⇒人権文化部
- ・89年 箕面市教育実態調査(学力・自尊感情・保護者)

⇒甘えや依存からの転換。個人給付の見直し

1990年代～ 行政依存からの脱却

～じぶんたちの手でじぶんたちが住みよいまちづくりを～

- ・配食サービス「おふくろの味」
- ・いきがい福祉就労「まかさん会」
- ・北芝解放太鼓保存会「鼓吹」



2001年 NPO設立

暮らしづくりネットワーク北芝



たくさんの「つぶやき」をひろいました



コミュニティスペース
‘芝楽’

○住民さんとともに作る
＝地域住民の得意を活かす、頼る
＝愛着を生む、関わるきっかけ



芝楽活用
新しく作るお祭り
多様なイベント開催



チャレンジのハードルを下げ
「やってみたい」を応援！



2010年 らいとぴあ21 指定管理

- ・総合生活相談、教育相談
- ・展示、セミナー企画
- ・こどもの居場所、育成支援
- ・施設の利用(貸館)
- ・親と子の交流広場「おひさまルーム」
- ・図書コーナー



教育の取り組み

【地域のニーズ、役割】

- ・こども事業サポーター活動
- ・地域のお祭りや朝市の手伝い
- ・和太鼓など伝統文化
- ・共済サービスなど



被支援者から担い手へ



地域通貨「まーぶ」とは？

- こどもも稼いでまちの中で使える地域通貨
- 稼ぎ方は、「自分の未来のためになること」「誰かのためになること」
- 2015年～ 無期限版「まーぶ」発行開始 総発行数1600万まーぶ達成



地域活動・ボランティア
得意を生かして
「仕事」をする
はたらく！

まなぶ！

自分の未来のため
になる勉強をする
プロに仕事を教わる
地域や社会のことを
知る

地域の行事に参加
まちのお店で買い物
習い事をする
あそぶ！

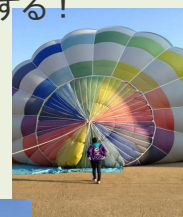


地域通貨「まーぶ」とは？

- こどもたちが、夢を実現するために。「まーぶ」が子どもたちを豊かにする！

「逃走中」をやりたい！

気球に乗りたい！





地域通貨「まーぶ」とは？

ぴあぴあ食堂

長期休み、らいとぴあ21にやってくる子どもたちの中に、お昼ごはんを用意されなかったり、持っていない子どもたちがいたことから始まる。

子どもは100まーぶ(おとなは500円か500まーぶ)で食べることができる。

<夏休みの実績>

1日の利用平均31人中16人がまーぶ払い

☆地域住民がシェフとして関わる

くわしくはブログ→

「ぴあぴあ食堂」で検索

<http://piashoku.seesaa.net/>



地域通貨「まーぶ」とは？

まーぶハローワーク

イベント出展型と常設型の2種類設置

<イベント出展型>

イベント内でお仕事体験を実施
仕事例としては、屋台の宣伝・接客、清掃、パトロール、チラシ配りなど
20分100まーぶの設定

<常設型>

らいとぴあ21のぴあぴあルームに、求人ボードを設置
求人票を見て、子どもたちがやりたいものを選ぶしくみ



北芝における「こども食堂」

～みんなでごはん。樂ごはん。～

参加型

共生型

- ・ 夕方から夜の居場所兼ごはんの場として2016年2月から試行実施
- ・ 北芝内の資源を活用(コミュニティハウス、らいとぴあ、いこいの家)
- ・ 広報はこどものロコミベースであまりおこなっていない



・ メインターゲットは「親」。

親のしんどさをキャッチするために、子どもからつながる

- ・ 必ずしもこの場に参加することは求めない
- ・ もちろん子どもたちの安心、逃げれる場としても機能している



北芝における「こども食堂」

～みんなでごはん。樂ごはん。～

参加型

共生型

- ・ 住宅集会所のリニューアルを機に、集会所での樂ごはんを2017年1月より実施
- ・ 団地住民内のつながりを作り直したり、子どもと住民が出会う場に
- ・ 40～50人の参加(内、団地住民が半分以上を占める)



- ・ 子どもも大人もまじりあいながら、会食するスタイル
- ・ 調理や片付けも参加者同士で分担しながら
- ・ 集会所まで来れない住民さん(高齢者、妊娠婦、新生児がいる等)には配達することも

生活・居場所サポート① 居住支援

2011年からコミュニティハウスを活用

助成金やモデル事業を組み合わせ既存制度から
もれる困窮者の受け入れ

相談支援の中で見えてきたニーズに合わせて
スタッフがチームになり、居住支援をサポート



地域とのつながり

地域と関わりながらの生活

地域住民との関係づくりや、地域活動へ参加すること
で、さまざまな価値観や文化との出会い

専門家に「診られる」のではなく地域の人に「見られる」
「存在を気にして」もらうことの安心感。



生活・居場所サポート② 社会的居場所「あおぞら」

2011年～2017年

・決まったプログラムはあえて設定せず、オープンと
クローズの中間くらいのフリースペースとして運営。

・「行く場所がある」安心感。

・当事者活動が生まれたり、クラウドファンディングにも
若者自身が挑戦。

・「居場所」は固定された場所ではなく、人と人との
関係性のなかにあるものとして、発展的閉所。



生活・居場所サポート③ 外部研修、修学旅行



和歌山
コーヒー
焙煎研修

東京
なんでも屋さん
研修

北海道・釧路
生活支援研修



・修学旅行や友人との旅行
経験がない若者たち

→非日常の体験
→多様な価値観、
生き方との出会い
→仲間づくり
(深夜の語り、体験の共有)

・逃げ場の確保

→新しい自分になれる
→大阪から逃げる、もアリ



熊本・西原村
被災地ボランティア



社会体験① コーヒー焙煎プロジェクト「ひとつぶコーヒー」

・ピッキング、焙煎、商品詰め、販売など、分業しや
すく、得意・不得意にあわせた参加が可能。

・毎週決まった時間に集まる居場所的機能。

・来なくても怒られないけど、「あの子来てないな」と
心配される。自分の存在が必要とされる経験。



社会体験② 生み出す・作り出す就労体験

地域の資源・ニーズ × 若者

地域で生み出す就労体験

個別の状況に合わせ、
オーダーメイド型



シュシュづくり



折り込み・ポスティング



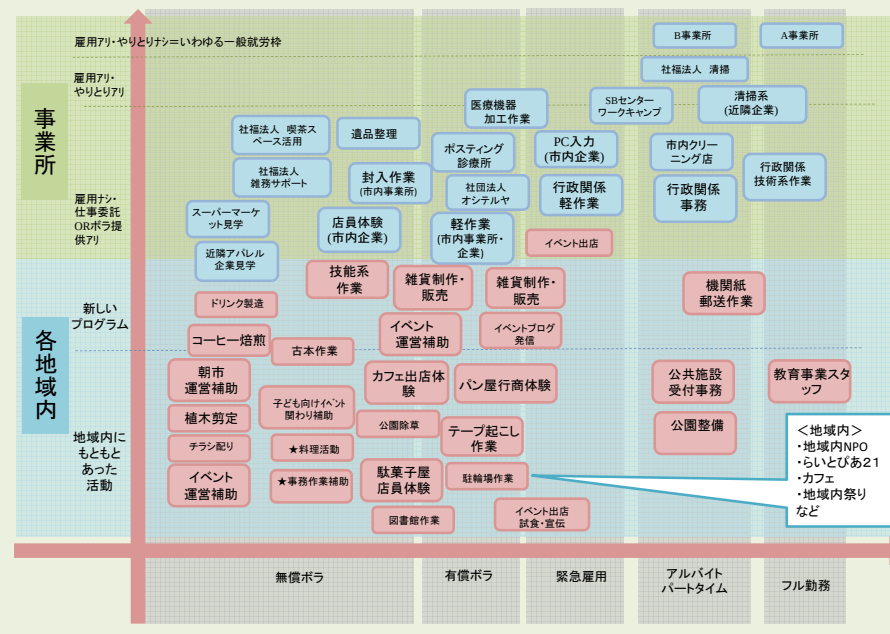
NEET引越センター



イベント出店

就労準備支援及び就労訓練(中間的就労)プログラム分布図

2017.9



社会体験③ 若者の力 × 地域の困りごと → 起業へ！



「なんでもやったるDAY！」



若者 × 地域の困りごと → 起業へ！

なんでもやったるDAY！

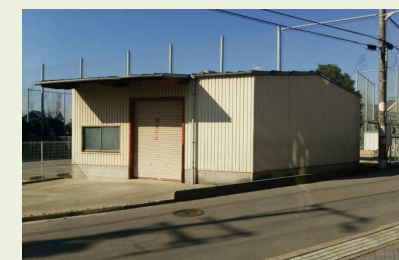
活動をつくってきた若者の言葉

「地域のために、何かしたい」

「飽きずに働ける仕事をつくりたい」

若者達の背景

- ・参加する若者の半数以上が生活保護世帯、高校中退、生活困窮家庭、ネグレクトなど、困難な環境で育った若者。
- ・地域を出たことがなく、人間関係も狭い
→ 多様な生き方に出会う機会が少なく、ルールモデルがない。
→ 新しい出会いから深い人間関係をつくることへの不安
- ・多くはサービス業や職人(建設系)などでアルバイトをしているが、過酷な労働条件のもと働いていたり、長続きしなかったり...



若者 × 地域の困りごと .. 起業へ！

活動に関わるひとたち

- ・「なんかしたい」「とりあえずヒマ」な若者たち(10代後半～20代前半)
- ・手先の器用な地域のおっちゃんたち
- ・なんの役にも立たないNPOスタッフ
- ・ごはん食べさせたいおばちゃんたち

ゆるやかなつながり

- ・「支援者」としてではなく、同じ地域に住む近所のおっちゃん・おばちゃんとしての関わり
⇒活動を共にすることで個別の関係性が生まれ、困ったときに「助けて」と言えなくても、変化に気付いてくれる人が周囲に増える。スタッフとは違う距離感。役割分担。
⇒仕事を依頼することで若者を支えていることになる。北芝版ささえあいのカタチ。
⇒「若者たちをささえる」ことで、孤立しがちなおっちゃんたちの居場所に。
- ・活動をつくるプロセスのなかで出会う全国の若者や大人との出会い。
⇒違う生き方、価値観のなかでチャレンジできる逃げ場を確保。

今後の展開

- ・起業のための準備会を設立 ⇒一般社団法人として独立

若者をささえるネットワークづくり①



箕面若者支援施策のありかた研究会

＜研究会＞
年6回程度実施

＜セミナー＞

- ・2015年度 ゲスト：向谷地生良さん(べてるの家)
- ・2016年度 ゲスト：谷口仁史さん(佐賀・SSF)
- ・2017年度 ゲスト：石井正宏さん(NPO法人パノラマ)

＜参加 約20部局＞

- ・行政(教育、子ども家庭支援室、青少年、労働部局、福祉事務所など)
- ・学校(中学、私立・公立高校、大学)
- ・民間(NPO、生活困窮窓口、社会福祉協議会、国際交流協会など)

それぞれの立場から見える若者の課題、若者をささえる地域ネットワークのありかたについて協議。関係機関同士の情報交換、つながる場に。



若者をささえるネットワークづくり②

「若者はなにを考えてるかわからん」

↑ **ギャップを埋める** ↓

「まわりの大人は理解してくれへん」

「若者たちの生きづらさを小さな声で絶叫するマガジン」
⇒ 若者たちの「見えづらい生きづらさ」を研究、言語化



若者たちの声を発信！

若者たちが置かれている状況を発信。

市民、支援者向けセミナー



人がつながる地域づくり

個人→家庭→**地域**→まち→国・地球

個人や家庭では解決できない課題。

- ・社会的孤立→**出会い**の場づくり
- ・社会的排除→多様なネットワークの**つながり**
- ・失業・貧困 →コミュニティビジネスの創出で地域が**元気になる**。

これまでの住民運動をベースとした地域コミュニティと多様な主体によるテーマコミュニティが有機的に連携し**地域力**を高めることで、人がつながる地域づくりを実現する。



まとめ

- 「たすけて」が言えなくても、困ったときにはだれかが気付いてくれる地域づくり。

→自分の力だけで生きていくことが自立なのか？支えられることもあるし、支える側にまわることもある。「支える側」「支えられる側」の固定された関係を超える。

- 「生きづらさ」は豊かな社会をつくるための原石探知機。

→「お互いの違いが見えにくい現在の社会において、生きづらさの中で生きてきたひとの話のなかにこそ、この社会がいまどこへ向かえばいいのかという大切な知恵が眠っている」べてるの家 向谷地生良さん

- 生活の中に支援のすきまがある。

→なにもに困ってるのか、周囲からは見えづらい若者の「生きづらさ」。

面談室のなかだけでは見えない姿は、ともに地域で暮らしてみればじめて見える。

- 既存の生き方・働き方だけじゃない選択肢を生み出す

→「あたりまえ」「これが普通の生き方」を見直すこと。

→ひとりぼっちだったらできない。でも地域のなかでならできる、かも！

発信中！

ブログやFacebookで発信中です

- 北芝このごろの話題

→<http://kurashinet.blog110.fc2.com/>

暮らしづくりFacebook

→<http://www.facebook.com/kurashi.kitashiba>

- らいとぴあニュースブログ

→<http://raipinews.seesaa.net/>

- こども地域通貨「まーぶ」

• →<http://www.ma-bu.org/>

